

令和3年度 在宅歯科医療・介護 多職種連携推進研修会報告

開催方法：動画配信による研修会（申し込み不要）

配信期間：令和3年9月16日（木）～9月30日（木）

対象：加茂地域の医療・介護・保健福祉関係者等

再生回数：（2部構成）第1部 364回

第2部 249回

<開催内容>

講演タイトル：「最期まで自分の口で食べる喜びを」
～在宅歯科医療における口腔ケア～

講師：後藤 邦久 先生
加茂歯科医師会 理事
ごとう歯科（坂祝町）院長

むし歯や歯周病についての説明、効果的な口腔ケアの方法等を、スライドを用いてご講義いただいた。



<参加者からの感想> ※アンケート一部抜粋

- ・在宅高齢者（要介護者）にとって、口腔ケアがどうしても必要なのか、詳しく学ぶことが出来ました。
- ・口腔ケアの大切さがよく分かりました。口内をきれいにすることで、感染症のリスクも下がることを知ることが出来ました。
- ・口腔の疾患について知識が乏しかったのでとても勉強になった。関連疾患の話題もあり、患者に対しアドバイスができるような内容を学ぶことができた。
- ・口腔内細菌が全身又は認知症に悪影響を及ぼすことが理解できた。口腔ケアが健康寿命を延ばすことにつながるの、介護にかかわる人ももっと力を入れていけるとよいと思いました。

<今後どのような支援に役立てられるか>

- ・口腔ケアの効果、方法をあらためて学ぶことが出来たので、今後のケアの際に意識して行いたいと思いました。
- ・口腔ケアの大切さが良く分かりました。口腔ケアをすることで、誤嚥性肺炎が予防できることが分かり、特に高齢者の方への肺炎リスクを減らすために、投薬時に口腔ケアの必要性もお話ししていきたいと思いました。（薬剤師）
- ・口腔ケアの大切さを再確認させていただきました。現場でも口腔ケアを行っていますが、行う理由や利用者様に対するメリットを再確認できた。（栄養士）
- ・通所サービスのケアプランにぜひ取れ入れ、表記していきたい。